

平成 22 年度 第 4 回理事会抄録

日時：平成 22 年 11 月 20 日（土）13：00～16：03

場所：（社）日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、岩瀬（副会長）、荻原（事務局長）、古川、長尾、岩崎（監事）、大熊、香山、土井、早川、山本（常務理事）、生田、大丸、荻山、北山、坂井、陣内、谷、日垣、東、三澤（理事）、久保田、小賀野、五百川（部・委員長）、高木（士会連絡協議会長）

審議に先立ち、生涯教育制度の新システムについて東京コロニー山本氏よりプレゼンテーションがあり、その後、質疑応答を行った。

I 審議事項

1. 平成 22 年度補正予算（案）について（久保田財務部長）当初予算より事業活動運用支出と予備費の減額を含め総額で 1,059 万円減額の補正予算案としたい。減額後も依然として赤字予算である。減額分は積立金取崩額を減らして対応したい。 →承認
2. 平成 23 年度重点活動項目（案）について（小賀野企画調整委員長）理事会、運営調整会、連携・調整会議での意見等を踏まえて修正を加えた。 →承認
3. 新定款（案）と代議員制の導入について（荻原公益法人制度対策委員長・伊藤選挙管理委員長）法人移行に伴い、定款の改定、協会組織の改編、組織決定の方法について検討が必要。定款の改定案に基づいて、今後、内閣府と具体的に協議・調整に入る。代議員制を導入する。詳細については今後さらに検討する。 →承認
4. 「広告可能な医療職の専門資格名の届出」に向けた制度の改定について（陣内生涯教育部担当理事）「広告可能な医療職の専門資格名届出」に向け、認定試験、更新審査、再認定審査の概要を検討した。今後、提案された方向で検討を進めていく。 →承認
5. 謝金規程の一部改定について（五百川規約委員長）専門作業療法士を B ランクに位置づける。ランク付けについて及び備考に記載されている事項との関連について質問が出された。運用について再度確認する。 →承認
6. 「作業療法白書」の位置づけと制作業務の外部委託について（荻原事務局長）白書を機関誌の特別号という位置づけから外し、協会が刊行する出版物として位置づける。制作業務の委託先は、相見積りで最安値であった（株）サンワに依頼する。 →承認

7. 『作業療法関連用語集』（仮称）に関する会員意見の募集について（荏山学術部担当理事）『作業療法関連用語集』（仮称）に掲載する用語を選定した。追加あるいは削除したほうがよいと思われる用語を会員より意見募集を行う。 →承認
8. 認定作業療法士の認定について（荻原事務局長）更新 6 名、新規 15 名を認定する。
→承認
9. 会員の死亡退会について（荻原事務局長）死亡により 4 名退会。 →承認

II 報告事項

1. 平成 22 年度協会会計中間監査及び学会監査の結果について（古川監事）協会会計中間監査及び学会監査を 11 月 20 日に行った。いずれも適正に処理されている。
2. 平成 23 年度予算申請について（久保田財務部長）ここ数年は積立金を取り崩して活動に充てているが、実収入に見合った予算としたい。予算申請書類は 12 月 3 日必着のこと。
3. 平成 23 年度役員改選スケジュールについて（伊藤選挙管理委員長）23 年 4 月 8 日選挙告示、4 月 17 日～5 月 15 日投票。トラブルによる延長も可能な日程になっている。
4. 承認済み規約の作業報告について（五百川規約委員長）理事会で承認済みの以下の規程についてまとめた。
 - 1) 作業療法推進活動パイロット事業助成制度規程
 - 2) 認定作業療法士制度規程細則
5. 専門作業療法士分野（高次脳機能障害）について（陣内生涯教育部担当理事）理事会で指摘された部分を追加した。
6. 「機関誌のあり方について（意見）」について（日垣学術部担当理事）学術部と機関誌編集委員長会で意見交換会をもった。今後、機関誌は学術的なものを主とし、それ以外のものは協会ニュース等に移すが、どのような形にするかの検討が必要。
7. 厚労省：看護業務実態調査に関するアンケートに対する回答について（会長）11 月 19 日に厚生労働省医政局へ資料を提出した。
8. 診療報酬・介護報酬要望事項の取りまとめについて（会長）次回改定に向け 3 団体共通で要望をまとめる。1 月に大枠を取りまとめる。
9. 訪問リハビリテーションステーション創設の動きについて（会長）民主党岡田幹事長に要望書を提出した。議連で決議してもらい、議員立法で上げる手続きをする。
10. 渉外活動報告 書面報告

荻山理事：10月29日に認知症の人と家族の会の事務局（京都市）を訪問した。家族の集い等で家族会の都道府県支部との連携を強めていきたいとの意向を伺っている。

三澤理事：日本リハビリテーション病院・施設協会の中に障害児者のリハのあり方検討委員会ができた。同時改定に向け動きを具体化していきたい。

11. **平成 22 年度作業療法推進活動に関する連携・調整会議**について（荻原事務局長）11月7日に会議をもち、重点活動項目について各部からの調整事項について協議した。

12. **2010 年度作業療法フォーラム、第 46 回全国研修会**について（北山事業部担当理事）横浜と神戸で開催した際に行ったアンケート結果をまとめた。

13. **地域保健総合推進事業報告集会**について（大丸理事）平成8年から日本公衆衛生協会の援助をいただき PT 協会との合同事業となっている。平成23年1月22日に報告集会を開催。

14. **第 45 回日本作業療法学会（埼玉）国際シンポジウム**について（荻山国際部担当理事）高齢社会における作業療法の役割をテーマに、第45回学会時に国際シンポジウムを行う。

15. **その他 山根副会長**：WFOT との覚書調印が終了し、チームジャパンが発足した。平成23年2月にWFOTより役員が来日し、合同の会議を行う。